

# 通貨選択型ダイワ先進国リートα

## 円ヘッジコース（毎月分配型）

## 通貨セレクトコース（毎月分配型）

### 運用報告書（全体版）

第78期（決算日 2019年1月15日）  
第79期（決算日 2019年2月13日）  
第80期（決算日 2019年3月13日）  
第81期（決算日 2019年4月15日）  
第82期（決算日 2019年5月13日）  
第83期（決算日 2019年6月13日）

（作成対象期間 2018年12月14日～2019年6月13日）

#### ★当ファンドの仕組みは次の通りです。

商品分類	追加型投信／内外／不動産投信（リート）	
信託期間	約10年間（2012年6月27日～2022年6月13日）	
運用方針	信託財産の成長をめざして運用を行ないます。	
主要投資対象	円ヘッジコース（毎月分配型）	イ. ケイマン籍の外国投資信託「クレディ・スイス・ユニバーサル・トラスト（ケイマン）Ⅱーグローバル・リートα・ファンド（円ヘッジクラス）」の受益証券（円建） ロ. ダイワ・マネースtock・マザーファンドの受益証券
	通貨セレクトコース（毎月分配型）	イ. ケイマン籍の外国投資信託「クレディ・スイス・ユニバーサル・トラスト（ケイマン）Ⅱーグローバル・リートα・ファンド（通貨セレクトクラス）」の受益証券（円建） ロ. ダイワ・マネースtock・マザーファンドの受益証券
組入制限	投資信託証券への投資割合には、制限を設けません。	
分配方針	分配対象額は、経費控除後の配当等収益と売買益（評価益を含みます。）等とし、原則として、継続的な分配を行なうことを目標に、基準価額の水準を勘案して分配金額を決定します。ただし、分配対象額が少額の場合には、分配を行わないことがあります。また、第1計算期末には、収益の分配は行ないません。	

#### 受益者のみなさまへ

毎々、格別のご愛顧にあずかり厚くお礼申し上げます。

当ファンドは、リート（不動産投資信託）への投資とオプション取引を組み合わせたカバードコール戦略を構築し、信託財産の成長をめざしております。当作成期につきましてもそれに沿った運用を行ないました。ここに、運用状況をご報告申し上げます。

今後とも一層のお引立てを賜りますよう、お願い申し上げます。

## 大和投資信託

Daiwa Asset Management

東京都千代田区丸の内一丁目9番1号

お問い合わせ先（コールセンター）

TEL 0120-106212

（営業日の9:00～17:00）

<https://www.daiwa-am.co.jp/>

<5735>  
<5736>

## 円ヘッジコース (毎月分配型)

## 最近30期の運用実績

決算期	基準価額			S&P先進国REIT指数 (現地通貨建て)		公社債 組入比率	投資信託 組入比率	純資産 総額
	(分配落)	税込み 分配金	期中 騰落率	(参考指数)	期中 騰落率			
	円	円	%		%	%	%	百万円
54期末(2017年1月13日)	7,037	80	0.9	16,743	1.4	0.0	98.3	837
55期末(2017年2月13日)	7,009	80	0.7	16,895	0.9	0.0	98.4	806
56期末(2017年3月13日)	6,827	80	△1.5	16,375	△3.1	0.0	98.4	779
57期末(2017年4月13日)	6,968	80	3.2	17,245	5.3	0.0	98.9	796
58期末(2017年5月15日)	6,789	80	△1.4	16,832	△2.4	0.0	98.3	777
59期末(2017年6月13日)	6,811	80	1.5	17,264	2.6	0.0	98.5	816
60期末(2017年7月13日)	6,580	80	△2.2	16,820	△2.6	-	98.3	754
61期末(2017年8月14日)	6,548	80	0.7	16,931	0.7	0.0	98.4	716
62期末(2017年9月13日)	6,582	80	1.7	17,345	2.4	-	98.4	694
63期末(2017年10月13日)	6,495	80	△0.1	17,423	0.4	-	98.2	661
64期末(2017年11月13日)	6,461	80	0.7	17,559	0.8	-	98.4	644
65期末(2017年12月13日)	6,393	80	0.2	17,710	0.9	-	98.9	615
66期末(2018年1月15日)	6,128	80	△2.9	17,071	△3.6	-	98.4	592
67期末(2018年2月13日)	5,770	80	△4.5	16,178	△5.2	-	98.3	561
68期末(2018年3月13日)	5,794	80	1.8	16,562	2.4	-	98.5	465
69期末(2018年4月13日)	5,693	80	△0.4	16,509	△0.3	-	98.2	455
70期末(2018年5月14日)	5,781	80	3.0	17,388	5.3	-	98.3	454
71期末(2018年6月13日)	5,731	80	0.5	17,739	2.0	-	98.2	460
72期末(2018年7月13日)	5,683	80	0.6	18,232	2.8	-	98.7	467
73期末(2018年8月13日)	5,594	80	△0.2	18,155	△0.4	-	98.5	486
74期末(2018年9月13日)	5,527	80	0.2	18,425	1.5	-	99.4	480
75期末(2018年10月15日)	5,188	80	△4.7	17,258	△6.3	-	98.3	438
76期末(2018年11月13日)	5,304	80	3.8	18,158	5.2	-	98.4	446
77期末(2018年12月13日)	5,249	80	0.5	18,086	△0.4	-	98.3	414
78期末(2019年1月15日)	5,111	80	△1.1	17,829	△1.4	-	98.4	408
79期末(2019年2月13日)	5,173	80	2.8	19,054	6.9	-	98.4	398
80期末(2019年3月13日)	5,120	80	0.5	19,318	1.4	0.0	98.4	396
81期末(2019年4月15日)	5,091	80	1.0	19,863	2.8	-	98.4	399
82期末(2019年5月13日)	4,998	80	△0.3	19,683	△0.9	-	98.4	371
83期末(2019年6月13日)	4,983	80	1.3	20,084	2.0	-	98.8	371

(注1) 基準価額の騰落率は分配金込み。

(注2) S & P先進国REIT指数(現地通貨建て)は、同指数の原データをもとに、当ファンド設定日を10,000として大和投資信託が計算したものです。S & P先進国REIT指数(現地通貨建て)の所有権およびその他一切の権利は、S&P Dow Jones Indices LLCが有しています。S&P Dow Jones Indices LLCは、同指数の算出にかかる誤謬等に関し、いかなる者に対しても責任を負うものではありません。

(注3) 海外の指数は、基準価額への反映を考慮して、現地前営業日の終値を採用しています。

(注4) 指数値は、指数提供会社により過去に遡って修正される場合があります。上記の指数は直近で知り得るデータを使用しております。

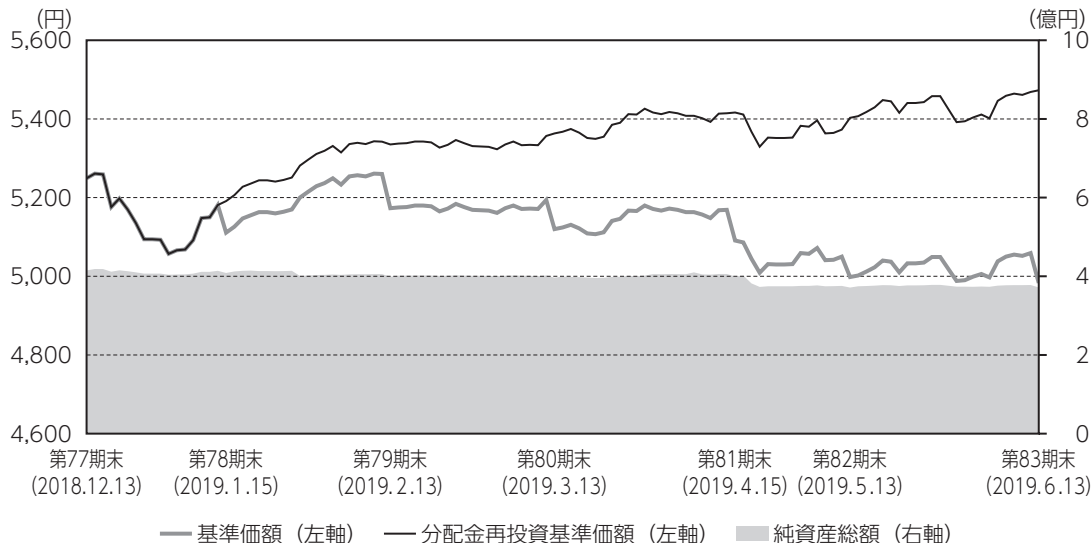
(注5) 公社債組入比率は、マザーファンドの組入比率を当ファンドベースに換算したものを含みます。

(注6) 公社債組入比率は新株予約権付社債券(転換社債券)および債券先物を除きます。



## 運用経過

### 基準価額等の推移について



\* 分配金再投資基準価額は、分配金 (税込み) を分配時に再投資したものとみなして計算したもので、ファンド運用の実質的なパフォーマンスを示すものです。

\* 分配金を再投資するかどうかについては、お客さまがご利用のコースにより異なります (分配金を自動的に再投資するコースがないファンドもあります)。また、ファンドの購入価額により課税条件も異なります。したがって、お客さまの損益の状況を示すものではありません。

#### ■ 基準価額・騰落率

第78期首：5,249円

第83期末：4,983円 (既払分配金480円)

騰落率：4.3% (分配金再投資ベース)

#### ■ 基準価額の主な変動要因

リートα・ファンド (円ヘッジクラス) の上昇が寄与し、基準価額は上昇しました。リートα・ファンド (円ヘッジクラス) については、先進国のリートへの投資とオプション取引を組

み合わせたカバードコール戦略を構築した結果、先進国リートが上昇したことがプラスに寄与し上昇しました。オプション取引は、マイナス要因となりました。くわしくは「投資環境について」をご参照ください。

※リートα・ファンド (円ヘッジクラス) :  
クレディ・スイス・ユニバーサル・トラスト (ケイマン) II グローバル・リートα・ファンド (円ヘッジクラス)

通貨選択型ダイワ先進国リートα 円ヘッジコース (毎月分配型)

	年 月 日	基 準 価 額		S & P先進国REIT指数 (現 地 通 貨 建 て)	公 社 債	投 資 信 託 受 益 証 券 組 入 比 率
		円	騰 落 率	(参考指数)	組 入 比 率	
第78期	(期首)2018年12月13日	5,249	—	18,086	—	98.3
	12月末	5,057	△3.7	17,129	—	97.1
	(期末)2019年 1 月15日	5,191	△1.1	17,829	—	98.4
第79期	(期首)2019年 1 月15日	5,111	—	17,829	—	98.4
	1 月末	5,237	2.5	18,890	—	98.3
	(期末)2019年 2 月13日	5,253	2.8	19,054	—	98.4
第80期	(期首)2019年 2 月13日	5,173	—	19,054	—	98.4
	2 月末	5,168	△0.1	19,042	—	98.5
	(期末)2019年 3 月13日	5,200	0.5	19,318	0.0	98.4
第81期	(期首)2019年 3 月13日	5,120	—	19,318	0.0	98.4
	3 月末	5,180	1.2	19,783	—	98.3
	(期末)2019年 4 月15日	5,171	1.0	19,863	—	98.4
第82期	(期首)2019年 4 月15日	5,091	—	19,863	—	98.4
	4 月末	5,057	△0.7	19,621	—	99.6
	(期末)2019年 5 月13日	5,078	△0.3	19,683	—	98.4
第83期	(期首)2019年 5 月13日	4,998	—	19,683	—	98.4
	5 月末	4,990	△0.2	19,619	—	98.6
	(期末)2019年 6 月13日	5,063	1.3	20,084	—	98.8

(注) 期末基準価額は分配金込み、騰落率は期首比。

## 投資環境について

(2018.12.14~2019.6.13)

## ■先進国リート市況

先進国リート市況は上昇しました。

当作成期の前半は、世界経済の成長に対する不安が高まり株式市況などが大きく下落する中で、リート市況も下落しました。その後は、米中貿易摩擦の緊張が和らいだことや米国の金融引き締めに対する慎重な姿勢が好感されたことなどを背景に、おおむね堅調な推移となりました。後半も、債券利回りが低下したことなどから、リート市況はおおむね上昇基調で推移しました。

国別の現地通貨建ての騰落率を見ると、香港やオーストラリア、シンガポールなどが堅調だった一方で、オランダやフランスなどが振るいませんでした。現地通貨建てのセクター別では、産業施設や住宅、各種不動産などが堅調だった一方で、商業施設などが低調でした。

## ■短期金利市況

日本では、日銀が「長短金利操作付き量的・質的金融緩和」を継続し、短期金利は低位で推移しました。一方、F R B (米国連邦準備制度理事会) は、政策金利の誘導目標レンジを2018年12月に0.25%ポイント引き上げ、2.25~2.50%としました。

## 前作成期末における「今後の運用方針」

## ■当ファンド

引き続き、リートα・ファンド (円ヘッジクラス) とダイワ・マネースtock・マザーファンドに投資します。また、リートα・ファンド (円ヘッジクラス) への投資割合を高位に維持することを基本とします。

## ■リートα・ファンド (円ヘッジクラス)

世界経済は引き続き堅調に推移するものとみています。米中貿易摩擦や欧州の新たな排ガス規制などの短期的な悪材料はあるものの、経済成長の継続を背景に主要各国でインフレ率の上昇が予想され、金利はさらに上昇するとみています。F R B (米国連邦準備制度理事会) は2019年半ばに金融引き締めをいったん終了し、E C B (欧州中央銀行) は2019年夏ごろに利上げを開始するとみています。日本においては、2020年後半まで量的・質的金融緩和を継続するとみています。リーートの債券利回り対比での魅力的な配当利回りなどを背景に、リーートのパフォーマンスは底堅いものとみています。

個別銘柄ごとに、価格の方向性に基づき、保有株数の一部または全部にかかるコール・オプション (買う権利) を売却することでカバードコール戦略を構築します。

為替変動リスクを低減するため、為替ヘッジを行います。

## ■ダイワ・マネースtock・マザーファンド

流動性と資産の安全性に配慮し、短期の国債やコール・ローン等による運用を行う方針です。

## ポートフォリオについて

(2018.12.14~2019.6.13)

## ■当ファンド

リートα・ファンド (円ヘッジクラス) とダイワ・マネースtock・マザーファンドに投資しました。リートα・ファンド (円ヘッジクラス) への投資割合を高位に維持しました。

## ■リートα・ファンド (円ヘッジクラス)

安定的な配当が見込め、下値抵抗力がある相対的に割安な銘柄を選定し、リートのバリュエーションやオプション取引価格等を考慮して、リートポートフォリオを構築しました。現物リートポートフォリオ部分については、セクター別で見ると、産業施設や特殊用途施設などをオーバーウエートとし、商業施設やオフィスなどをアンダーウエートとしました。国別で見ると、堅調なファンダメンタルズと安定した配当利回りの見通しを背景に、米国やシンガポール、カナダなどをおおむねオーバーウエートで推移させ、英国やオランダなどをおおむねアンダーウエートで推移させました。

個別銘柄ごとに、価格の方向性に基づき、保有株数の一部または全部にかかるコール・オプションを売却することでカバードコール戦略を構築しました。

為替変動リスクを低減するため、為替ヘッジを行いました。

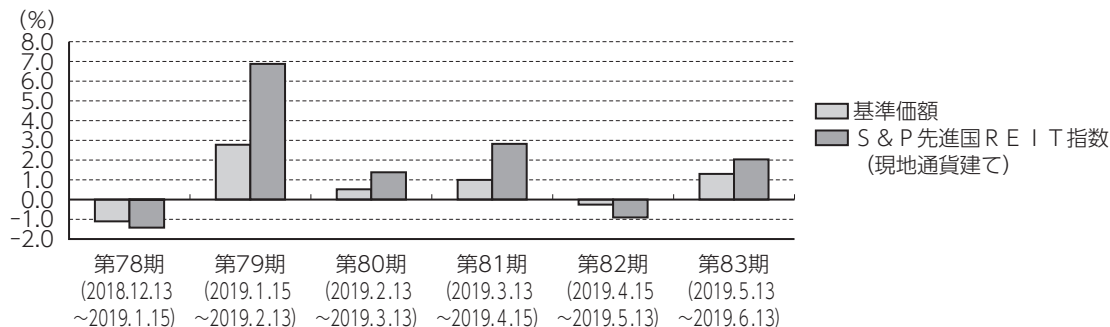
## ■ダイワ・マネースtock・マザーファンド

流動性と資産の安全性に配慮し、短期の国債やコール・ローン等による運用を行いました。

## ベンチマークとの差異について

当ファンドは運用の評価または目標基準となるベンチマークを設けておりません。

以下のグラフは、当ファンドの基準価額と参考指数との騰落率の対比です。当ファンドはカバードコール戦略を構築していますので、オプション取引要因は参考指数との差異の要因に含まれます。



## 分配金について

当作成期の1万口当り分配金(税込み)は下記「分配原資の内訳(1万口当り)」の「当期分配金(税込み)」欄をご参照ください。

収益分配金の決定根拠は下記「収益分配金の計算過程(1万口当り)」をご参照ください。

なお、留保益につきましては、運用方針に基づき運用させていただきます。

### ■分配原資の内訳(1万口当り)

項 目	第78期	第79期	第80期	第81期	第82期	第83期
	2018年12月14日 ~2019年1月15日	2019年1月16日 ~2019年2月13日	2019年2月14日 ~2019年3月13日	2019年3月14日 ~2019年4月15日	2019年4月16日 ~2019年5月13日	2019年5月14日 ~2019年6月13日
<b>当期分配金(税込み)(円)</b>	<b>80</b>	<b>80</b>	<b>80</b>	<b>80</b>	<b>80</b>	<b>80</b>
対基準価額比率(%)	1.54	1.52	1.54	1.55	1.58	1.58
当期の収益(円)	49	50	46	41	42	41
当期の収益以外(円)	30	29	33	38	37	38
翌期繰越分配対象額(円)	1,080	1,050	1,017	980	942	904

(注1) 「当期の収益」は「経費控除後の配当等収益」および「経費控除後の有価証券売買等損益」から分配に充当した金額です。また、「当期の収益以外」は「収益調整金」および「分配準備積立金」から分配に充当した金額です。

(注2) 円未満は切捨てており、当期の収益と当期の収益以外の合計が当期分配金(税込み)に合致しない場合があります。

(注3) 当期分配金の対基準価額比率は当期分配金(税込み)の期末基準価額(分配金込み)に対する比率で、ファンドの収益率とは異なります。

### ■収益分配金の計算過程(1万口当り)

項 目	第78期	第79期	第80期	第81期	第82期	第83期
(a) 経費控除後の配当等収益	✓ 49.98円	✓ 50.59円	✓ 46.44円	✓ 41.75円	✓ 42.05円	✓ 41.80円
(b) 経費控除後の有価証券売買等損益	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00
(c) 収益調整金	983.10	983.76	984.24	✓ 986.56	✓ 980.28	✓ 942.34
(d) 分配準備積立金	✓ 127.20	✓ 96.53	✓ 66.64	✓ 31.93	0.00	0.00
(e) 当期分配対象額(a + b + c + d)	1,160.29	1,130.88	1,097.33	1,060.25	1,022.34	984.14
(f) 分配金	80.00	80.00	80.00	80.00	80.00	80.00
(g) 翌期繰越分配対象額(e - f)	1,080.29	1,050.88	1,017.33	980.25	942.34	904.14

(注) ✓を付した該当項目から分配金を計上しています。



## 今後の運用方針

### ■当ファンド

引き続き、リートα・ファンド（円ヘッジクラス）とダイワ・マネーストック・マザーファンドに投資します。また、リートα・ファンド（円ヘッジクラス）への投資割合を高位に維持することを基本とします。

### ■リートα・ファンド（円ヘッジクラス）

世界的に製造業には減速が見られますが、先進国の経済成長率は引き続き好調です。消費需要は力強い労働市場に支えられており、労働市場はサービスセクターがけん引しています。米中貿易摩擦に関しては、当初の予想よりも遅くなりますが、いずれは合意に達する可能性が高いと考えています。FRB（米国連邦準備制度理事会）は忍耐強い金融政策というガイダンスを据え置いています。リートにとって追い風となっています。債券利回り対比でのリーートの魅力的な配当利回りなどを背景に、リーートのパフォーマンスは底堅いものとみています。

個別銘柄ごとに、価格の方向性に基づき、保有株数の一部または全部にかかるコール・オプションを売却することでカバードコール戦略を構築します。

為替変動リスクを低減するため、為替ヘッジを行います。

### ■ダイワ・マネーストック・マザーファンド

流動性と資産の安全性に配慮し、短期の国債やコール・ローン等による運用を行う方針です。



## 1万口当りの費用の明細

項 目	第78期～第83期 (2018.12.14～2019.6.13)		項 目 の 概 要
	金 額	比 率	
信 託 報 酬	34円	0.660%	信託報酬＝当作成期中の平均基準価額×信託報酬率 当作成期中の平均基準価額は5,121円です。
(投 信 会 社)	(11)	(0.214)	投信会社分は、ファンドの運用と調査、受託銀行への運用指図、基準価額の計算、法定書面等の作成等の対価
(販 売 会 社)	(22)	(0.430)	販売会社分は、運用報告書等各種書類の送付、口座内での各ファンドの管理、購入後の情報提供等の対価
(受 託 銀 行)	(1)	(0.016)	受託銀行分は、運用財産の管理、投信会社からの指図の実行の対価
売 買 委 託 手 数 料	—	—	売買委託手数料＝当作成期中の売買委託手数料／当作成期中の平均受益権口数 売買委託手数料は、有価証券等の売買の際、売買仲介人に支払う手数料
有 価 証 券 取 引 税	—	—	有価証券取引税＝当作成期中の有価証券取引税／当作成期中の平均受益権口数 有価証券取引税は、有価証券の取引の都度発生する取引に関する税金
そ の 他 費 用	0	0.004	その他費用＝当作成期中のその他費用／当作成期中の平均受益権口数
(監 査 費 用)	(0)	(0.004)	監査費用は、監査法人等に支払うファンドの監査に係る費用
合 計	34	0.663	

(注1) 当作成期中の費用(消費税のかかるものは消費税を含む)は追加、解約によって受益権口数に変動があるため、項目の概要の簡便法により算出した結果です。

(注2) 各金額は項目ごとに円未満を四捨五入してあります。

(注3) 各比率は1万口当りのそれぞれの費用金額を当作成期中の平均基準価額で除して100を乗じたもので、小数点第3位未満を四捨五入してあります。

(注4) 組み入れているマザーファンドがある場合、売買委託手数料、有価証券取引税およびその他費用は、当該マザーファンドが支払った金額のうち、このファンドに対応するものを含みます。組み入れている投資信託証券(マザーファンドを除く。)がある場合、各項目の費用は、当該投資信託証券が支払った費用を含みません。なお、当該投資信託証券の直近の計算期末時点における「1万口当りの費用の明細」が取得できるものについては「組入上位ファンドの概要」に表示することとしております。

■売買および取引の状況  
投資信託受益証券

(2018年12月14日から2019年6月13日まで)

決算期	第 78 期 ~ 第 83 期			
	買 付		売 付	
	□ 数	金 額	□ 数	金 額
	千口	千円	千口	千円
外国 (邦貨建)	797,60143	38,213	1,560,6044	74,774

(注1) 買付は、外国投資信託から支払われた分配金による再投資分を含みます。  
(注2) 金額は受渡し代金。  
(注3) 金額の単位未満は切捨て。

■主要な売買銘柄  
投資信託受益証券

(2018年12月14日から2019年6月13日まで)

第 78 期 ~					第 83 期				
買		付			売		付		
銘	柄	□ 数	金 額	平均単価	銘	柄	□ 数	金 額	平均単価
		千口	千円	円			千口	千円	円
GLOBAL REIT ALPHA FUND JPY HEDGED CLASS (ケイマン諸島)		310.70972	15,000	48	GLOBAL REIT ALPHA FUND JPY HEDGED CLASS (ケイマン諸島)		1,560.6044	74,774	47

(注1) 金額は受渡し代金。  
(注2) 金額の単位未満は切捨て。

■利害関係人との取引状況等

(1) 当ファンドにおける当作成期中の利害関係人との取引状況

当作成期中における利害関係人との取引はありません。

(2) ダイワ・マネースtock・マザーファンドにおける当作成期中の利害関係人との取引状況

(2018年12月14日から2019年6月13日まで)

区 分	第 78 期 ~			第 83 期		
	買付額等 A	うち利害 関係人との 取引状況B	B/A	売付額等 C	うち利害 関係人との 取引状況D	D/C
公社債	百万円 250	百万円 250	% 100.0	百万円 -	百万円 -	% -
コール・ローン	6,211,128	-	-	-	-	-

(注) 平均保有割合0.0%  
※平均保有割合とは、マザーファンドの残存口数の合計に対する当該ベビーフンドのマザーファンド所有口数の割合。

(3) 当作成期中の売買委託手数料総額に対する利害関係人への支払比率

当作成期中における売買委託手数料の利害関係人への支払いはありません。

※利害関係人とは、投資信託及び投資法人に関する法律第11条第1項に規定される利害関係人であり、当作成期における当ファンドに係る利害関係人とは、大和証券です。

■組入資産明細表

(1) ファンド・オブ・ファンズが組入れた邦貨建ファンドの明細

ファンド名	第 83 期 末		比 率
	□ 数	評 価 額	
外国投資信託受益証券 (ケイマン諸島)	千口	千円	%
GLOBAL REIT ALPHA FUND JPY HEDGED CLASS	7,622.87371	367,056	98.8

(注1) 比率欄は、純資産総額に対する評価額の比率。  
(注2) 評価額の単位未満は切捨て。

(2) 親投資信託残高

種 類	第77期末	第 83 期 末	
	□ 数	□ 数	評 価 額
ダイワ・マネースtock・マザーファンド	千口 399	千口 399	千円 399

(注) 単位未満は切捨て。

## ■投資信託財産の構成

2019年6月13日現在

項 目	第 83 期 末	
	評 価 額	比 率
投資信託受益証券	千円 367,056	% 96.9
ダイワ・マネースtock・マザーファンド	399	0.1
コール・ローン等、その他	11,206	3.0
投資信託財産総額	378,663	100.0

(注) 評価額の単位未満は切捨て。

## ■資産、負債、元本および基準価額の状況

(2019年1月15日)、(2019年2月13日)、(2019年3月13日)、(2019年4月15日)、(2019年5月13日)、(2019年6月13日)現在

項 目	第 78 期 末	第 79 期 末	第 80 期 末	第 81 期 末	第 82 期 末	第 83 期 末
<b>(A) 資産</b>	<b>415,185,359円</b>	<b>405,417,700円</b>	<b>403,957,246円</b>	<b>406,442,818円</b>	<b>377,879,897円</b>	<b>378,663,110円</b>
コール・ローン等	12,905,823	12,588,219	13,617,262	12,666,064	11,758,148	11,206,695
投資信託受益証券(評価額)	401,879,615	392,429,560	389,940,103	393,376,913	365,721,908	367,056,614
ダイワ・マネースtock・マザーファンド(評価額)	399,921	399,921	399,881	399,841	399,841	399,801
<b>(B) 負債</b>	<b>6,886,141</b>	<b>6,605,142</b>	<b>7,590,009</b>	<b>6,772,586</b>	<b>6,344,474</b>	<b>6,962,092</b>
未払収益分配金	6,390,716	6,167,913	6,193,736	6,280,692	5,947,271	5,967,214
未払解約金	—	—	979,134	—	—	555,935
未払信託報酬	492,069	431,001	409,039	480,841	383,385	423,016
その他未払費用	3,356	6,228	8,100	11,053	13,818	15,927
<b>(C) 純資産総額(A-B)</b>	<b>408,299,218</b>	<b>398,812,558</b>	<b>396,367,237</b>	<b>399,670,232</b>	<b>371,535,423</b>	<b>371,701,018</b>
元本	798,839,582	770,989,197	774,217,121	785,086,560	743,408,970	745,901,815
次期繰越損益金	△390,540,364	△372,176,639	△377,849,884	△385,416,328	△371,873,547	△374,200,797
<b>(D) 受益権総口数</b>	<b>798,839,582口</b>	<b>770,989,197口</b>	<b>774,217,121口</b>	<b>785,086,560口</b>	<b>743,408,970口</b>	<b>745,901,815口</b>
1万口当り基準価額(C/D)	<b>5,111円</b>	<b>5,173円</b>	<b>5,120円</b>	<b>5,091円</b>	<b>4,998円</b>	<b>4,983円</b>

\*第77期末における元本額は790,338,336円、当作成期間(第78期~第83期)中における追加設定元本額は59,209,423円、同解約元本額は103,645,944円です。

\*第83期末の計算口数当りの純資産額は4,983円です。

\*第83期末の純資産総額が元本額を下回っており、その差額は374,200,797円です。

通貨選択型ダイワ先進国リートα 円ヘッジコース (毎月分配型)

■ 損益の状況

第78期 自2018年12月14日 至2019年1月15日 第81期 自2019年3月14日 至2019年4月15日  
 第79期 自2019年1月16日 至2019年2月13日 第82期 自2019年4月16日 至2019年5月13日  
 第80期 自2019年2月14日 至2019年3月13日 第83期 自2019年5月14日 至2019年6月13日

項 目	第 78 期	第 79 期	第 80 期	第 81 期	第 82 期	第 83 期
(A) 配当等収益	4,488,639円	4,055,476円	4,007,190円	3,683,887円	3,512,930円	3,389,562円
受取配当金	4,488,759	4,055,819	4,007,544	3,684,448	3,513,038	3,389,910
受取利息	-	5	-	-	1	-
支払利息	△ 120	△ 348	△ 354	△ 561	△ 109	△ 348
(B) 有価証券売買損益	△ 8,625,290	7,293,309	△ 1,517,152	709,906	△ 4,092,121	1,922,785
売買益	1	7,430,943	11,143	721,586	82,624	1,926,721
売買損	△ 8,625,291	△ 137,634	△ 1,528,295	△ 11,680	△ 4,174,745	△ 3,936
(C) 信託報酬等	△ 495,703	△ 433,873	△ 411,527	△ 483,813	△ 386,150	△ 425,580
(D) 当期損益(A+B+C)	△ 4,632,354	10,914,912	2,078,511	3,909,980	△ 965,341	4,886,767
(E) 前期繰越損益	△ 261,708,169	△ 261,431,631	△ 255,951,987	△ 254,525,262	△ 240,768,106	△ 243,877,684
(F) 追加信託差損益金	△ 117,809,125	△ 115,492,007	△ 117,782,672	△ 128,520,354	△ 124,192,829	△ 129,242,666
(配当等相当額)	( 78,534,167)	( 75,847,369)	( 76,201,855)	( 77,453,601)	( 72,875,245)	( 70,289,713)
(売買損益相当額)	(△196,343,292)	(△191,339,376)	(△193,984,527)	(△205,973,955)	(△197,068,074)	(△199,532,379)
(G) 合計(D + E + F)	△ 384,149,648	△ 366,008,726	△ 371,656,148	△ 379,135,636	△ 365,926,276	△ 368,233,583
(H) 収益分配金	△ 6,390,716	△ 6,167,913	△ 6,193,736	△ 6,280,692	△ 5,947,271	△ 5,967,214
次期繰越損益(G+H)	△ 390,540,364	△ 372,176,639	△ 377,849,884	△ 385,416,328	△ 371,873,547	△ 374,200,797
追加信託差損益金	△ 117,809,125	△ 115,492,007	△ 117,782,672	△ 129,015,378	△ 127,013,326	△ 132,091,897
(配当等相当額)	( 78,534,167)	( 75,847,369)	( 76,201,855)	( 76,958,577)	( 70,054,748)	( 67,440,482)
(売買損益相当額)	(△196,343,292)	(△191,339,376)	(△193,984,527)	(△205,973,955)	(△197,068,074)	(△199,532,379)
分配準備積立金	7,764,034	5,174,888	2,562,028	-	-	-
繰越損益金	△ 280,495,273	△ 261,859,520	△ 262,629,240	△ 256,400,950	△ 244,860,221	△ 242,108,900

(注1) 信託報酬等には信託報酬に対する消費税等相当額を含めて表示しております。

(注2) 追加信託差損益金とは、追加信託金と元本との差額をいい、元本を下回る場合は損失として、上回る場合は利益として処理されます。

(注3) 収益分配金の計算過程は下記「収益分配金の計算過程(総額)」をご参照ください。

■ 収益分配金の計算過程 (総額)

項 目	第 78 期	第 79 期	第 80 期	第 81 期	第 82 期	第 83 期
(a) 経費控除後の配当等収益	3,992,933円	3,900,440円	3,595,646円	3,278,235円	3,126,774円	3,117,983円
(b) 経費控除後の有価証券売買等損益	0	0	0	0	0	0
(c) 収益調整金	78,534,167	75,847,369	76,201,855	77,453,601	72,875,245	70,289,713
(d) 分配準備積立金	10,161,817	7,442,361	5,160,118	2,507,433	0	0
(e) 当期分配対象額(a+b+c+d)	92,688,917	87,190,170	84,957,619	83,239,269	76,002,019	73,407,696
(f) 分配金	6,390,716	6,167,913	6,193,736	6,280,692	5,947,271	5,967,214
(g) 翌期繰越分配対象額(e-f)	86,298,201	81,022,257	78,763,883	76,958,577	70,054,748	67,440,482
(h) 受益権総口数	798,839,582□	770,989,197□	774,217,121□	785,086,560□	743,408,970□	745,901,815□

収 益 分 配 金 の お 知 ら せ						
	第 78 期	第 79 期	第 80 期	第 81 期	第 82 期	第 83 期
1 万口当り分配金	80円	80円	80円	80円	80円	80円

●<分配金再投資コース>をご利用の方の税引き分配金は、決算日現在の基準価額に基づいて自動的に再投資いたしました。

#### 分配金の課税上の取扱いについて

- ・分配金には、課税扱いとなる「普通分配金」と、非課税扱いとなる「元本払戻金（特別分配金）」があります。
- ・分配落ち後の基準価額が個別元本と同額または個別元本を上回る場合には、分配金の全額が普通分配金となります。
- ・分配落ち後の基準価額が個別元本を下回る場合には、下回る部分の額が元本払戻金（特別分配金）、残りの額が普通分配金です。
- ・元本払戻金（特別分配金）が発生した場合は、分配金発生時における個々の受益者の個別元本から当該元本払戻金（特別分配金）を控除した額が、その後の個々の受益者の個別元本となります。
- ・普通分配金については、20.315%（所得税15%、復興特別所得税0.315%および地方税5%）の税率による源泉徴収が行なわれ、申告不要制度が適用されます。なお、確定申告を行ない、申告分離課税または総合課税を選択することもできます。
- ・法人の受益者の場合、税率が異なります。
- ・税法が改正された場合等には、上記の内容が変更になることがあります。くわしくは、販売会社にお問い合わせください。
- ・課税上の取扱いの詳細につきましては、税務専門家等にご確認されることをお勧めします。

当ファンドは少額投資非課税制度「NISA（ニーサ）」および未成年者少額投資非課税制度「ジュニアNISA」の適用対象です。非課税口座における取扱いについては販売会社にお問い合わせください。

通貨セレクトコース (毎月分配型)

最近30期の運用実績

決算期	基準価額			S&P先進国REIT指数 (現地通貨建て)		公社債 組入比率	投資信託 組入比率	純資産 総額
	(分配落)	税込み 分配金	期中 騰落率	(参考指数)	期中 騰落率			
	円	円	%		%	%	%	百万円
54期末(2017年1月13日)	4,904	100	0.7	16,743	1.4	0.0	98.9	8,236
55期末(2017年2月13日)	4,914	100	2.2	16,895	0.9	0.0	98.6	8,062
56期末(2017年3月13日)	4,814	100	0.0	16,375	△3.1	0.0	98.4	7,740
57期末(2017年4月13日)	4,732	100	0.4	17,245	5.3	0.0	98.6	7,463
58期末(2017年5月15日)	4,800	100	3.6	16,832	△2.4	0.0	98.0	7,521
59期末(2017年6月13日)	4,660	100	△0.8	17,264	2.6	0.0	98.6	7,066
60期末(2017年7月13日)	4,570	100	0.2	16,820	△2.6	-	98.5	6,780
61期末(2017年8月14日)	4,412	100	△1.3	16,931	0.7	0.0	98.3	6,470
62期末(2017年9月13日)	4,517	100	4.6	17,345	2.4	-	98.7	6,589
63期末(2017年10月13日)	4,402	100	△0.3	17,423	0.4	-	98.5	6,383
64期末(2017年11月13日)	4,306	100	0.1	17,559	0.8	-	98.5	5,893
65期末(2017年12月13日)	4,262	100	1.3	17,710	0.9	-	98.6	5,413
66期末(2018年1月15日)	4,082	100	△1.9	17,071	△3.6	-	98.7	5,130
67期末(2018年2月13日)	3,702	100	△6.9	16,178	△5.2	-	98.5	4,571
68期末(2018年3月13日)	3,623	100	0.6	16,562	2.4	-	98.5	4,457
69期末(2018年4月13日)	3,521	70	△0.9	16,509	△0.3	-	98.3	4,270
70期末(2018年5月14日)	3,513	70	1.8	17,388	5.3	-	98.3	4,179
71期末(2018年6月13日)	3,414	70	△0.8	17,739	2.0	-	98.4	3,982
72期末(2018年7月13日)	3,401	70	1.7	18,232	2.8	-	98.4	3,932
73期末(2018年8月13日)	3,083	70	△7.3	18,155	△0.4	-	98.4	3,524
74期末(2018年9月13日)	3,016	70	0.1	18,425	1.5	-	98.1	3,418
75期末(2018年10月15日)	2,887	70	△2.0	17,258	△6.3	-	98.3	3,279
76期末(2018年11月13日)	3,008	70	6.6	18,158	5.2	-	98.6	3,392
77期末(2018年12月13日)	3,027	50	2.3	18,086	△0.4	-	98.2	3,407
78期末(2019年1月15日)	2,882	50	△3.1	17,829	△1.4	-	98.4	3,193
79期末(2019年2月13日)	3,018	50	6.5	19,054	6.9	-	98.4	3,273
80期末(2019年3月13日)	3,003	50	1.2	19,318	1.4	0.0	98.3	3,234
81期末(2019年4月15日)	3,040	50	2.9	19,863	2.8	-	98.6	3,234
82期末(2019年5月13日)	2,879	50	△3.7	19,683	△0.9	-	98.5	3,039
83期末(2019年6月13日)	2,912	50	2.9	20,084	2.0	-	98.6	2,872

(注1) 基準価額の騰落率は分配金込み。

(注2) S & P先進国REIT指数(現地通貨建て)は、同指数の原データをもとに、当ファンド設定日を10,000として大和投資信託が計算したものです。S & P先進国REIT指数(現地通貨建て)の所有権およびその他一切の権利は、S&P Dow Jones Indices LLCが有しています。S&P Dow Jones Indices LLCは、同指数の算出にかかる誤謬等に関し、いかなる者に対しても責任を負うものではありません。

(注3) 海外の指数は、基準価額への反映を考慮して、現地前営業日の終値を採用しています。

(注4) 指数値は、指数提供会社により過去に遡って修正される場合があります。上記の指数は直近で知り得るデータを使用しております。

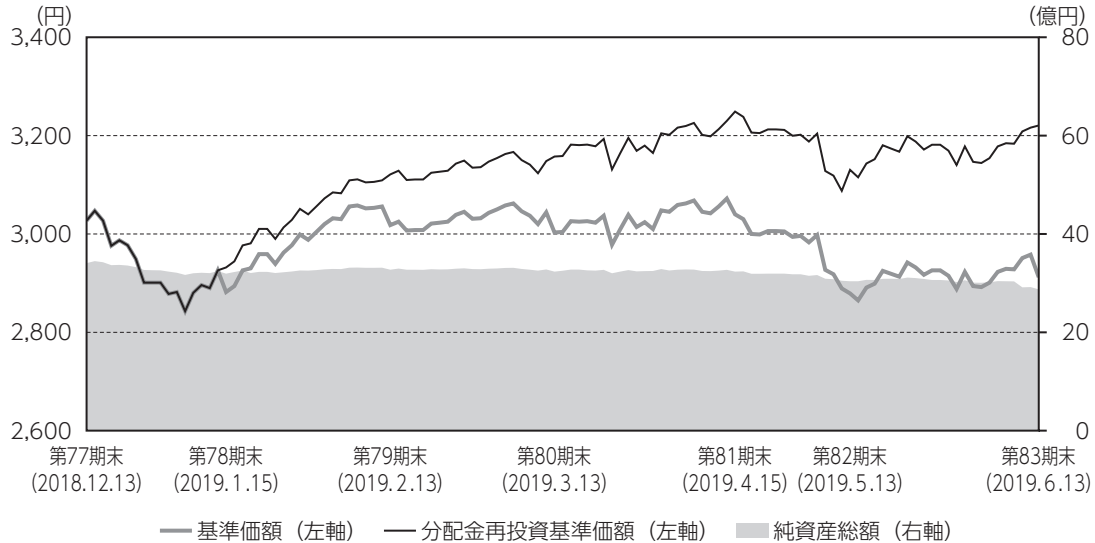
(注5) 公社債組入比率は、マザーファンドの組入比率を当ファンドベースに換算したものを含みます。

(注6) 公社債組入比率は新株予約権付社債券(転換社債券)および債券先物を除きます。



## 運用経過

### 基準価額等の推移について



- \* 分配金再投資基準価額は、分配金（税込み）を分配時に再投資したものとみなして計算したもので、ファンド運用の実質的なパフォーマンスを示すものではありません。
- \* 分配金を再投資するかどうかについては、お客さまがご利用のコースにより異なります（分配金を自動的に再投資するコースがないファンドもあります）。また、ファンドの購入価額により課税条件も異なります。したがって、お客さまの損益の状況を示すものではありません。

#### ■ 基準価額・騰落率

第78期首：3,027円  
 第83期末：2,912円（既払分配金300円）  
 騰落率：6.4%（分配金再投資ベース）

#### ■ 基準価額の主な変動要因

リートα・ファンド（通貨セレクトクラス）の上昇が寄与し、基準価額は上昇しました。リートα・ファンド（通貨セレクトクラス）については、先進国のリートへの投資とオプション取引を組み合わせたカバードコール戦略を構築するとともに、原資産通貨売り／選定通貨買

いの為替取引を活用した結果、選定通貨が対円で下落したことはマイナス要因となりましたが、先進国リートが上昇したことや為替取引によるプレミアム（金利差相当分の収益）がプラスに寄与し上昇しました。オプション取引は、マイナス要因となりました。くわしくは「投資環境について」をご参照ください。

※リートα・ファンド（通貨セレクトクラス）：クレディ・スイス・ユニバーサル・トラスト（ケイマン）Ⅱ－グローバル・リートα・ファンド（通貨セレクトクラス）

通貨選択型ダイワ先進国リートα 通貨セレクトコース（毎月分配型）

	年 月 日	基 準 価 額		S & P先進国REIT指数 (現地通貨建て) (参考指数)		公 社 債 組 入 比 率	投 資 信 託 受 益 証 券 組 入 比 率
		円	騰 落 率	(参考指数)	騰 落 率		
第78期	(期首)2018年12月13日	3,027	—	18,086	—	—	98.2
	12月末	2,878	△4.9	17,129	△5.3	—	96.2
	(期末)2019年1月15日	2,932	△3.1	17,829	△1.4	—	98.4
第79期	(期首)2019年1月15日	2,882	—	17,829	—	—	98.4
	1月末	3,020	4.8	18,890	6.0	—	98.9
	(期末)2019年2月13日	3,068	6.5	19,054	6.9	—	98.4
第80期	(期首)2019年2月13日	3,018	—	19,054	—	—	98.4
	2月末	3,032	0.5	19,042	△0.1	—	98.6
	(期末)2019年3月13日	3,053	1.2	19,318	1.4	0.0	98.3
第81期	(期首)2019年3月13日	3,003	—	19,318	—	0.0	98.3
	3月末	3,024	0.7	19,783	2.4	—	98.8
	(期末)2019年4月15日	3,090	2.9	19,863	2.8	—	98.6
第82期	(期首)2019年4月15日	3,040	—	19,863	—	—	98.6
	4月末	2,983	△1.9	19,621	△1.2	—	99.3
	(期末)2019年5月13日	2,929	△3.7	19,683	△0.9	—	98.5
第83期	(期首)2019年5月13日	2,879	—	19,683	—	—	98.5
	5月末	2,923	1.5	19,619	△0.3	—	98.5
	(期末)2019年6月13日	2,962	2.9	20,084	2.0	—	98.6

(注) 期末基準価額は分配金込み、騰落率は期首比。



## 投資環境について

(2018.12.14~2019.6.13)

### ■先進国リート市況

先進国リート市況は上昇しました。

当作成期の前半は、世界経済の成長に対する不安が高まり株式市況などが大きく下落する中で、リート市況も下落しました。その後は、米中貿易摩擦の緊張が和らいだことや米国の金融引き締めに対する慎重な姿勢が好感されたことなどを背景に、おおむね堅調な推移となりました。後半も、債券利回りが低下したことなどから、リート市況はおおむね上昇基調で推移しました。

国別の現地通貨建ての騰落率を見ると、香港やオーストラリア、シンガポールなどが堅調だった一方で、オランダやフランスなどが振るいませんでした。現地通貨建てのセクター別では、産業施設や住宅、各種不動産などが堅調だった一方で、商業施設などが低調でした。

### ■為替相場

選定通貨(※)は対円でおおむね下落しました。

当作成期首から2019年1月前半にかけては、世界的に株価が下落し市場のリスク回避姿勢が強まったことで、選定通貨は対円でおおむね下落しました。しかしその後は、米国の金融引き締め姿勢の後退から、選定通貨は対円でおおむね上昇しました。5月に入ると、米中貿易摩擦への懸念が高まったことなどから、選定通貨は対円で再び下落しました。

当作成期における選定通貨の値動きは、インド・ルピー、インドネシア・ルピア、ロシア・ルーブル、トルコ・リラ、中国・人民元、フィリピン・ペソは対円で下落しました。一方、メキシコ・ペソは対円で上昇しました。

※選定通貨とは、通貨の選定方針により、為替取引の対象通貨として選定された通貨をいいます。

### ■短期金利市況

選定通貨の短期金利は、高い経済成長率やインフレ率を背景に米ドルの短期金利をおおむね上回って推移しました。米国では、2018年12月に0.25%ポイント利上げを実施し、政策金利の誘導目標レンジを2.00~2.25%から2.25~2.50%に引き上げました。

## 前作成期末における「今後の運用方針」

### ■当ファンド

引き続き、リートα・ファンド（通貨セレクトクラス）とダイワ・マネースtock・マザーファンドに投資します。また、リートα・ファンド（通貨セレクトクラス）への投資割合を高位に維持することを基本とします。

### ■リートα・ファンド（通貨セレクトクラス）

世界経済は引き続き堅調に推移するものとみています。米中貿易摩擦や欧州の新たな排ガス規制などの短期的な悪材料はあるものの、経済成長の継続を背景に主要各国でインフレ率の上昇が予想され、金利はさらに上昇するとみています。F R B（米国連邦準備制度理事会）は2019年半ばに金融引き締めをいったん終了し、E C B（欧州中央銀行）は2019年夏ごろに利上げを開始するとみています。日本においては、2020年後半まで量的・質的金融緩和を継続するとみています。リーートの債券利回り対比での魅力的な配当利回りなどを背景に、リーートのパフォーマンスは底堅いものとみています。

個別銘柄ごとに、価格の方向性に基づき、保有株数の一部または全部にかかるコール・オプション（買う権利）を売却することでカバードコール戦略を構築します。

原資産通貨売り／選定通貨買いの為替取引を活用して、選定通貨で実質的な運用を行います。選定通貨については原則として、F T S E世界国債インデックスおよびJ P モルガン ガバメント・ボンド・インデックス－エマーGING・マーケット プロードの構成国の通貨の中から、金利水準、リスク水準、ファンダメンタルズ、流動性等を考慮し、6つの通貨を選定します。

### ■ダイワ・マネースtock・マザーファンド

流動性と資産の安全性に配慮し、短期の国債やコール・ローン等による運用を行う方針です。

## ポートフォリオについて

(2018.12.14~2019.6.13)

## ■当ファンド

リートα・ファンド（通貨セレクトクラス）とダイワ・マネーストック・マザーファンドに投資しました。リートα・ファンド（通貨セレクトクラス）への投資割合を高位に維持しました。

## ■リートα・ファンド（通貨セレクトクラス）

安定的な配当が見込め、下値抵抗がある相対的に割安な銘柄を選定し、リートのバリュエーションやオプション取引価格等を考慮して、リートポートフォリオを構築しました。現物リートポートフォリオ部分については、セクター別で見ると、産業施設や特殊用途施設などをオーバーウエートとし、商業施設やオフィスなどをアンダーウエートとしました。国別で見ると、堅調なファンダメンタルズと安定した配当利回りの見通しを背景に、米国やシンガポール、カナダなどをおおむねオーバーウエートで推移させ、英国やオランダなどをおおむねアンダーウエートで推移させました。

個別銘柄ごとに、価格の方向性に基づき、保有株数の一部または全部にかかるコール・オプションを売却することでカバードコール戦略を構築しました。

原資産通貨売り／選定通貨買いの為替取引を活用して、選定通貨で実質的な運用を行いました。選定通貨においては、金利水準、リスク水準、ファンダメンタルズ、流動性等を勘案し、中長期的な視点から安定したキャリー収益が享受できる通貨を毎月6通貨選定し、運用を行いました。また、選定通貨合計の比率は、原資産に対しておおむね100%を維持しました。

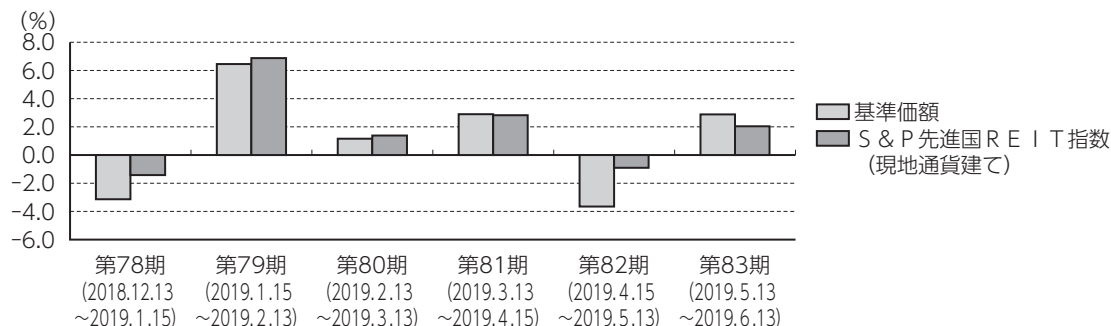
## ■ダイワ・マネーストック・マザーファンド

流動性と資産の安全性に配慮し、短期の国債やコール・ローン等による運用を行いました。

## ベンチマークとの差異について

当ファンドは運用の評価または目標基準となるベンチマークを設けておりません。

以下のグラフは、当ファンドの基準価額と参考指数との騰落率の対比です。当ファンドはカバードコール戦略を構築していますので、オプション取引要因は参考指数との差異の要因に含まれます。



## 分配金について

当作成期の1万口当り分配金（税込み）は下記「分配原資の内訳（1万口当り）」の「当期分配金（税込み）」欄をご参照ください。

収益分配金の決定根拠は下記「収益分配金の計算過程（1万口当り）」をご参照ください。

なお、留保益につきましては、運用方針に基づき運用させていただきます。

## 分配原資の内訳（1万口当り）

項 目	第78期	第79期	第80期	第81期	第82期	第83期
	2018年12月14日 ~2019年1月15日	2019年1月16日 ~2019年2月13日	2019年2月14日 ~2019年3月13日	2019年3月14日 ~2019年4月15日	2019年4月16日 ~2019年5月13日	2019年5月14日 ~2019年6月13日
<b>当期分配金（税込み）（円）</b>	<b>50</b>	<b>50</b>	<b>50</b>	<b>50</b>	<b>50</b>	<b>50</b>
対基準価額比率（%）	1.71	1.63	1.64	1.62	1.71	1.69
当期の収益（円）	50	50	50	50	50	50
当期の収益以外（円）	—	—	—	—	—	—
翌期繰越分配対象額（円）	2,991	2,994	2,995	2,995	3,003	3,004

（注1）「当期の収益」は「経費控除後の配当等収益」および「経費控除後の有価証券売買等損益」から分配に充当した金額です。また、「当期の収益以外」は「収益調整金」および「分配準備積立金」から分配に充当した金額です。

（注2）円未満は切捨てており、当期の収益と当期の収益以外の合計が当期分配金（税込み）に合致しない場合があります。

（注3）当期分配金の対基準価額比率は当期分配金（税込み）の期末基準価額（分配金込み）に対する比率で、ファンドの収益率とは異なります。

（注4）投資信託の計理上、「翌期繰越分配対象額」は当該決算期末時点の基準価額を上回る場合がありますが、実際には基準価額を超える額の分配金をお支払いすることはありません。

## ■収益分配金の計算過程（1万口当り）

項目	第78期	第79期	第80期	第81期	第82期	第83期
(a) 経費控除後の配当等収益	✓ 56.63円	✓ 53.05円	✓ 50.02円	✓ 50.48円	✓ 57.37円	✓ 51.62円
(b) 経費控除後の有価証券売買等損益	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00
(c) 収益調整金	2,572.93	2,576.55	2,578.73	2,583.51	2,585.78	2,589.78
(d) 分配準備積立金	412.36	415.37	416.24	411.78	409.98	413.37
(e) 当期分配対象額(a + b + c + d)	3,041.93	3,044.98	3,045.01	3,045.77	3,053.15	3,054.78
(f) 分配金	50.00	50.00	50.00	50.00	50.00	50.00
(g) 翌期繰越分配対象額(e - f)	2,991.93	2,994.98	2,995.01	2,995.77	3,003.15	3,004.78

(注) ✓を付した該当項目から分配金を計上しています。



## 今後の運用方針

### ■当ファンド

引き続き、リートα・ファンド（通貨セレクトクラス）とダイワ・マネースtock・マザーファンドに投資します。また、リートα・ファンド（通貨セレクトクラス）への投資割合を高位に維持することを基本とします。

### ■リートα・ファンド（通貨セレクトクラス）

世界的に製造業には減速が見られますが、先進国の経済成長率は引き続き好調です。消費需要は力強い労働市場に支えられており、労働市場はサービスセクターがけん引しています。米中貿易摩擦に関しては、当初の予想よりも遅くなりますが、いずれは合意に達する可能性が高いと考えています。F R B（米国連邦準備制度理事会）は忍耐強い金融政策というガイダンスを据え置いています。リートにとって追い風となっています。債券利回り対比でのリートの魅力的な配当利回りなどを背景に、リートのパフォーマンスは底堅いものとみています。

個別銘柄ごとに、価格の方向性に基づき、保有株数の一部または全部にかかるコール・オプションを売却することでカバードコール戦略を構築します。

原資産通貨売り／選定通貨買いの為替取引を活用して、選定通貨で実質的な運用を行います。選定通貨については原則として、F T S E 世界国債インデックスおよびJ P モルガン ガバメント・ボンド・インデックス・エマーゼン・マーケットツ ブロードの構成国の通貨の中から、金利水準、リスク水準、ファンダメンタルズ、流動性等を考慮し、6つの通貨を選定します。

### ■ダイワ・マネースtock・マザーファンド

流動性と資産の安全性に配慮し、短期の国債やコール・ローン等による運用を行う方針です。

## 1万口当りの費用の明細

項目	第78期～第83期 (2018.12.14～2019.6.13)		項目の概要
	金額	比率	
信託報酬	20円	0.658%	信託報酬＝当作成期中の平均基準価額×信託報酬率 当作成期中の平均基準価額は2,979円です。
(投信会社)	(6)	(0.214)	投信会社分は、ファンドの運用と調査、受託銀行への運用指図、基準価額の計算、法定書面等の作成等の対価
(販売会社)	(13)	(0.429)	販売会社分は、運用報告書等各種書類の送付、口座内での各ファンドの管理、購入後の情報提供等の対価
(受託銀行)	(0)	(0.015)	受託銀行分は、運用財産の管理、投信会社からの指図の実行の対価
売買委託手数料	—	—	売買委託手数料＝当作成期中の売買委託手数料／当作成期中の平均受益権口数 売買委託手数料は、有価証券等の売買の際、売買仲介人に支払う手数料
有価証券取引税	—	—	有価証券取引税＝当作成期中の有価証券取引税／当作成期中の平均受益権口数 有価証券取引税は、有価証券の取引の都度発生する取引に関する税金
その他費用	0	0.003	その他費用＝当作成期中のその他費用／当作成期中の平均受益権口数
(監査費用)	(0)	(0.003)	監査費用は、監査法人等に支払うファンドの監査に係る費用
合計	20	0.662	

(注1) 当作成期中の費用(消費税のかかるものは消費税を含む)は追加、解約によって受益権口数に変動があるため、項目の概要の簡便法により算出した結果です。

(注2) 各金額は項目ごとに円未満を四捨五入してあります。

(注3) 各比率は1万口当りのそれぞれの費用金額を当作成期中の平均基準価額で除して100を乗じたもので、小数点第3位未満を四捨五入してあります。

(注4) 組み入れているマザーファンドがある場合、売買委託手数料、有価証券取引税およびその他費用は、当該マザーファンドが支払った金額のうち、このファンドに対応するものを含みます。組み入れている投資信託証券(マザーファンドを除く。)がある場合、各項目の費用は、当該投資信託証券が支払った費用を含みません。なお、当該投資信託証券の直近の計算期末時点における「1万口当りの費用の明細」が取得できるものについては「組入上位ファンドの概要」に表示することとしております。

■売買および取引の状況  
投資信託受益証券

(2018年12月14日から2019年6月13日まで)

決算期	第 78 期 ~ 第 83 期			
	買 付		売 付	
	□ 数	金 額	□ 数	金 額
	千口	千円	千口	千円
外国（邦貨建）	11,320.49448	360,815	22,940.18056	727,792

(注1) 買付は、外国投資信託から支払われた分配金による再投資分を含みます。  
(注2) 金額は受渡し代金。  
(注3) 金額の単位未満は切捨て。

■主要な売買銘柄  
投資信託受益証券

(2018年12月14日から2019年6月13日まで)

第 78 期 ~					第 83 期				
買			付		売			付	
銘	柄	□ 数	金 額	平均単価	銘	柄	□ 数	金 額	平均単価
		千口	千円	円			千口	千円	円
					GLOBAL REIT ALPHA FUND CURRENCY SELECT CLASS (ケイマン諸島)		22,940.18056	727,792	31

(注1) 金額は受渡し代金。  
(注2) 金額の単位未満は切捨て。

■利害関係人との取引状況等

(1) 当ファンドにおける当作成期中の利害関係人との取引状況

当作成期中における利害関係人との取引はありません。

(2) ダイワ・マネースtock・マザーファンドにおける当作成期中の利害関係人との取引状況

(2018年12月14日から2019年6月13日まで)

決算期	第 78 期 ~ 第 83 期						
	買付額等 A		うち利害 関係人との 取引状況B	B/A	売付額等 C		うち利害 関係人との 取引状況D
区分					%	百万円	
公社債	百万円 250	百万円 250	100.0	—	—	—	—
コール・ローン	6,211,128	—	—	—	—	—	—

(注) 平均保有割合0.0%  
※平均保有割合とは、マザーファンドの残存口数の合計に対する当該ベビーフンドのマザーファンド所有口数の割合。

(3) 当作成期中の売買委託手数料総額に対する利害関係人への支払比率

当作成期中における売買委託手数料の利害関係人への支払いはありません。

※利害関係人とは、投資信託及び投資法人に関する法律第11条第1項に規定される利害関係人であり、当作成期における当ファンドに係る利害関係人とは、大和証券です。

■組入資産明細表

(1) ファンド・オブ・ファンズが組入れた邦貨建ファンドの明細

ファンド名	第 83 期 末		
	□ 数	評 価 額	比 率
外国投資信託受益証券 (ケイマン諸島)	千口	千円	%
GLOBAL REIT ALPHA FUND CURRENCY SELECT CLASS	89,216.5453	2,832,179	98.6

(注1) 比率欄は、純資産総額に対する評価額の比率。  
(注2) 評価額の単位未満は切捨て。

(2) 親投資信託残高

種 類	第77期末	第 83 期 末	
	□ 数	□ 数	評 価 額
	千口	千口	千円
ダイワ・マネースtock・マザーファンド	99	99	99

(注) 単位未満は切捨て。

■投資信託財産の構成

2019年6月13日現在

項目	第 83 期 末	
	評 価 額	比 率
投資信託受益証券	千円 2,832,179	% 92.2
ダイワ・マネースtock・マザーファンド	99	0.0
コール・ローン等、その他	240,124	7.8
投資信託財産総額	3,072,403	100.0

(注) 評価額の単位未満は切捨て。

■資産、負債、元本および基準価額の状況

(2019年1月15日)、(2019年2月13日)、(2019年3月13日)、(2019年4月15日)、(2019年5月13日)、(2019年6月13日)現在

項目	第 78 期 末	第 79 期 末	第 80 期 末	第 81 期 末	第 82 期 末	第 83 期 末
<b>(A) 資産</b>	<b>3,254,270,125円</b>	<b>3,331,491,822円</b>	<b>3,292,851,299円</b>	<b>3,299,511,237円</b>	<b>3,095,435,158円</b>	<b>3,072,403,740円</b>
コール・ローン等	112,263,434	111,639,290	112,380,390	111,487,500	101,474,374	240,124,560
投資信託受益証券(評価額)	3,141,906,711	3,219,752,552	3,180,370,939	3,187,923,777	2,993,860,824	2,832,179,230
ダイワ・マネースtock・マザーファンド(評価額)	99,980	99,980	99,970	99,960	99,960	99,950
<b>(B) 負債</b>	<b>60,367,332</b>	<b>57,723,043</b>	<b>57,978,308</b>	<b>65,414,376</b>	<b>56,300,261</b>	<b>200,015,678</b>
未払収益分配金	55,419,986	54,228,856	53,864,919	53,192,846	52,778,607	49,323,558
未払解約金	975,532	1,801	702,234	8,227,905	205,668	147,130,154
未払信託報酬	3,944,423	3,442,620	3,345,617	3,904,037	3,204,516	3,431,535
その他未払費用	27,391	49,766	65,538	89,588	111,470	130,431
<b>(C) 純資産総額(A-B)</b>	<b>3,193,902,793</b>	<b>3,273,768,779</b>	<b>3,234,872,991</b>	<b>3,234,096,861</b>	<b>3,039,134,897</b>	<b>2,872,388,062</b>
元本	11,083,997,386	10,845,771,320	10,772,983,925	10,638,569,332	10,555,721,513	9,864,711,674
次期繰越損益金	△ 7,890,094,593	△ 7,572,002,541	△ 7,538,110,934	△ 7,404,472,471	△ 7,516,586,616	△ 6,992,323,612
<b>(D) 受益権総口数</b>	<b>11,083,997,386□</b>	<b>10,845,771,320□</b>	<b>10,772,983,925□</b>	<b>10,638,569,332□</b>	<b>10,555,721,513□</b>	<b>9,864,711,674□</b>
1万口当り基準価額(C/D)	<b>2,882円</b>	<b>3,018円</b>	<b>3,003円</b>	<b>3,040円</b>	<b>2,879円</b>	<b>2,912円</b>

\*第77期末における元本額は11,258,246,184円、当作成期間（第78期～第83期）中における追加設定元本額は484,410,630円、同解約元本額は1,877,945,140円です。

\*第83期末の計算口数当りの純資産額は2,912円です。

\*第83期末の純資産総額が元本額を下回っており、その差額は6,992,323,612円です。



通貨選択型ダイワ先進国リートα 通貨セレクトコース (毎月分配型)

■ 損益の状況

第78期 自2018年12月14日 至2019年1月15日 第81期 自2019年3月14日 至2019年4月15日  
 第79期 自2019年1月16日 至2019年2月13日 第82期 自2019年4月16日 至2019年5月13日  
 第80期 自2019年2月14日 至2019年3月13日 第83期 自2019年5月14日 至2019年6月13日

項 目	第 78 期	第 79 期	第 80 期	第 81 期	第 82 期	第 83 期
(A) 配当等収益	66,746,319円	58,522,288円	57,261,633円	55,981,945円	63,793,273円	53,089,072円
受取配当金	66,747,291	58,525,063	57,264,845	55,986,109	63,794,682	53,092,678
受取利息	10	6	4	5	2	21
支払利息	△ 982	△ 2,781	△ 3,216	△ 4,169	△ 1,411	△ 3,627
(B) 有価証券売買損益	△ 168,275,776	147,261,832	△ 16,954,360	40,598,376	△ 177,548,768	31,715,792
売買益	3,823,011	148,700,303	170,723	41,203,215	422,537	32,417,771
売買損	△ 172,098,787	△ 1,438,471	△ 17,125,083	△ 604,839	△ 177,971,305	△ 701,979
(C) 信託報酬等	△ 3,974,444	△ 3,464,995	△ 3,366,005	△ 3,928,228	△ 3,226,398	△ 3,452,449
(D) 当期損益金(A+B+C)	△ 105,503,901	202,319,125	36,941,268	92,652,093	△ 116,981,893	81,352,415
(E) 前期繰越損益金	△ 6,839,091,425	△ 6,790,465,757	△ 6,563,421,829	△ 6,428,041,389	△ 6,303,829,839	△ 5,992,043,085
(F) 追加信託差損益金 (配当等相当額)	△ 890,079,281 ( 2,851,844,773)	△ 929,627,053 ( 2,794,472,064)	△ 957,765,454 ( 2,778,068,646)	△ 1,015,890,329 ( 2,748,486,509)	△ 1,042,996,277 ( 2,729,486,974)	△ 1,032,309,384 ( 2,554,743,594)
(F) 追加信託差損益金 (売買損益相当額)	(△ 3,741,924,054)	(△ 3,724,099,117)	(△ 3,735,834,100)	(△ 3,764,376,838)	(△ 3,772,483,251)	(△ 3,587,052,978)
(G) 合計(D + E + F)	△ 7,834,674,607	△ 7,517,773,685	△ 7,484,246,015	△ 7,351,279,625	△ 7,463,808,009	△ 6,943,000,054
(H) 収益分配金	△ 55,419,986	△ 54,228,856	△ 53,864,919	△ 53,192,846	△ 52,778,607	△ 49,323,558
次期繰越損益金(G+H)	△ 7,890,094,593	△ 7,572,002,541	△ 7,538,110,934	△ 7,404,472,471	△ 7,516,586,616	△ 6,992,323,612
追加信託差損益金 (配当等相当額)	△ 890,079,281 ( 2,851,844,773)	△ 929,627,053 ( 2,794,472,064)	△ 957,765,454 ( 2,778,068,646)	△ 1,015,890,329 ( 2,748,486,509)	△ 1,042,996,277 ( 2,729,486,974)	△ 1,032,309,384 ( 2,554,743,594)
追加信託差損益金 (売買損益相当額)	(△ 3,741,924,054)	(△ 3,724,099,117)	(△ 3,735,834,100)	(△ 3,764,376,838)	(△ 3,772,483,251)	(△ 3,587,052,978)
分配準備積立金	464,413,207	453,818,713	448,455,168	438,587,835	440,557,702	409,390,468
繰越損益金	△ 7,464,428,519	△ 7,096,194,201	△ 7,028,800,648	△ 6,827,169,977	△ 6,914,148,041	△ 6,369,404,696

(注1) 信託報酬等には信託報酬に対する消費税等相当額を含めて表示しております。

(注2) 追加信託差損益金とは、追加信託金と元本との差額をいい、元本を下回る場合は損失として、上回る場合は利益として処理されます。

(注3) 収益分配金の計算過程は下記「収益分配金の計算過程(総額)」をご参照ください。

■ 収益分配金の計算過程 (総額)

項 目	第 78 期	第 79 期	第 80 期	第 81 期	第 82 期	第 83 期
(a) 経費控除後の配当等収益	62,771,875円	57,536,843円	53,895,627円	53,705,143円	60,566,875円	50,927,838円
(b) 経費控除後の有価証券売買等損益	0	0	0	0	0	0
(c) 収益調整金	2,851,844,773	2,794,472,064	2,778,068,646	2,748,486,509	2,729,486,974	2,554,743,594
(d) 分配準備積立金	457,061,318	450,510,726	448,424,460	438,075,538	432,769,434	407,786,188
(e) 当期分配対象額(a+b+c+d)	3,371,677,966	3,302,519,633	3,280,388,733	3,240,267,190	3,222,823,283	3,013,457,620
(f) 分配金	55,419,986	54,228,856	53,864,919	53,192,846	52,778,607	49,323,558
(g) 翌期繰越分配対象額(e-f)	3,316,257,980	3,248,290,777	3,226,523,814	3,187,074,344	3,170,044,676	2,964,134,062
(h) 受益権総口数	11,083,997,386□	10,845,771,320□	10,772,983,925□	10,638,569,332□	10,555,721,513□	9,864,711,674□

収 益 分 配 金 の お 知 ら せ						
	第 78 期	第 79 期	第 80 期	第 81 期	第 82 期	第 83 期
1 万口当り分配金	50円	50円	50円	50円	50円	50円

●<分配金再投資コース>をご利用の方の税引き分配金は、決算日現在の基準価額に基づいて自動的に再投資いたしました。

#### 分配金の課税上の取扱いについて

- ・分配金には、課税扱いとなる「普通分配金」と、非課税扱いとなる「元本払戻金（特別分配金）」があります。
- ・分配落ち後の基準価額が個別元本と同額または個別元本を上回る場合には、分配金の全額が普通分配金となります。
- ・分配落ち後の基準価額が個別元本を下回る場合には、下回る部分の額が元本払戻金（特別分配金）、残りの額が普通分配金です。
- ・元本払戻金（特別分配金）が発生した場合は、分配金発生時における個々の受益者の個別元本から当該元本払戻金（特別分配金）を控除した額が、その後の個々の受益者の個別元本となります。
- ・普通分配金については、20.315%（所得税15%、復興特別所得税0.315%および地方税5%）の税率による源泉徴収が行なわれ、申告不要制度が適用されます。なお、確定申告を行ない、申告分離課税または総合課税を選択することもできます。
- ・法人の受益者の場合、税率が異なります。
- ・税法が改正された場合等には、上記の内容が変更になることがあります。くわしくは、販売会社にお問い合わせください。
- ・課税上の取扱いの詳細につきましては、税務専門家等にご確認されることをお勧めします。

当ファンドは少額投資非課税制度「NISA（ニーサ）」および未成年者少額投資非課税制度「ジュニアNISA」の適用対象です。非課税口座における取扱いについては販売会社にお問い合わせください。

クレディ・スイス・ユニバーサル・トラスト（ケイマン）Ⅱ－グローバル・リートα・ファンド  
円ヘッジクラス／通貨セレクトクラス

当ファンド（通貨選択型ダイワ先進国リートα 円ヘッジコース（毎月分配型）／通貨セレクトコース（毎月分配型））はケイマン籍の外国投資信託「クレディ・スイス・ユニバーサル・トラスト（ケイマン）Ⅱ－グローバル・リートα・ファンド 円ヘッジクラス／通貨セレクトクラス」に投資しておりますが、以下の内容は一部の項目を除きすべてのクラスを合算しております。

（注）2019年6月13日時点で入手しうる直近の状況を掲載しております。

## 貸借対照表

2018年2月28日

	(円)
<b>資産</b>	
担保付スワップ投資の評価額（簿価： 30,104,784,568円）	15,026,913,085
デリバティブ金融商品の評価額	196,932,456
未収利息	2,671,040
約定未収金	180,000,000
<b>資産合計</b>	<b>15,406,516,581</b>
<b>負債</b>	
デリバティブ金融商品の評価額	200,000,445
未払報酬代行会社報酬	2,671,040
未払償還金	180,000,000
<b>負債合計</b>	<b>382,671,485</b>
<b>償却可能受益証券の保有者に帰属する純資産</b>	<b>15,023,845,096</b>
帰属先別純資産：	
ノンヘッジクラス受益証券	3,894,387,685
円ヘッジクラス受益証券	6,617,797,617
通貨セレクトクラス受益証券	4,428,176,149
固定分配クラス（ノンヘッジ）受益証券	45,888,216
固定分配クラス（円ヘッジ）受益証券	37,595,429
発行済受益証券口数：	
ノンヘッジクラス受益証券	54,779,859.85
円ヘッジクラス受益証券	130,555,687.84
通貨セレクトクラス受益証券	116,278,360.85
固定分配クラス（ノンヘッジ）受益証券	782,544.89
固定分配クラス（円ヘッジ）受益証券	598,712.21
受益証券一口当り純資産額：	
ノンヘッジクラス受益証券	71.092
円ヘッジクラス受益証券	50.689
通貨セレクトクラス受益証券	38.083
固定分配クラス（ノンヘッジ）受益証券	58.640
固定分配クラス（円ヘッジ）受益証券	62.794

## 包括利益計算書

2018年2月28日に終了した年度

(円)

手数料収入	3,203,961,936
担保付スワップ投資による純損失	(3,236,398,674)
デリバティブ純損失	(245,196,768)
<b>投資純損失</b>	<b>(277,633,506)</b>
営業費用	102,975,283
<b>営業費用合計</b>	<b>102,975,283</b>
金融費用控除前営業損失	(380,608,789)
償還可能受益証券の保有者への分配金	(3,100,986,653)
<b>分配金支払後の償還可能受益証券の保有者に帰属する純資産の変動</b>	<b>(3,481,595,442)</b>

## デリバティブ金融商品（為替先渡契約）

決済日	契約数	受取（評価益） （円）	支払（評価損） （円）	（純）評価額 （円）
2018年3月13日	18	147,072,506	(179,542,802)	(32,470,296)
2018年3月22日	50	49,859,950	(20,457,643)	29,402,307
<b>（純）評価額</b>		<b>196,932,456</b>	<b>(200,000,445)</b>	<b>(3,067,989)</b>

<補足情報>

当ファンド（通貨選択型ダイワ先進国リートα 円ヘッジコース（毎月分配型）／通貨セレクトコース（毎月分配型））が投資対象としている「ダイワ・マネースtock・マザーファンド」の決算日（2018年12月10日）と、当ファンドの決算日が異なっておりますので、当ファンドの第83期の決算日（2019年6月13日）現在におけるダイワ・マネースtock・マザーファンドの組入資産の内容等を28ページに併せて掲載いたしました。

■ダイワ・マネースtock・マザーファンドの主要な売買銘柄

公 社 債

(2018年12月14日から2019年6月13日まで)

買		付		売		付	
銘	柄	金	額	銘	柄	金	額
801 国庫短期証券	2019/3/18		千円 250,003				千円

(注1) 金額は受渡し代金（経過利子分は含まれておりません）。

(注2) 単位未満は切捨て。

■組入資産明細表

2019年6月13日現在、有価証券等の組み入れはありません。

# ダイワ・マネースtock・マザーファンド

## 運用報告書 第9期 (決算日 2018年12月10日)

(作成対象期間 2017年12月12日～2018年12月10日)

ダイワ・マネースtock・マザーファンドの運用状況をご報告申し上げます。

### ★当ファンドの仕組みは次の通りです。

運用方針	安定した収益の確保をめざして安定運用を行ないます。
主要投資対象	円建ての債券
株式組入制限	純資産総額の10%以下

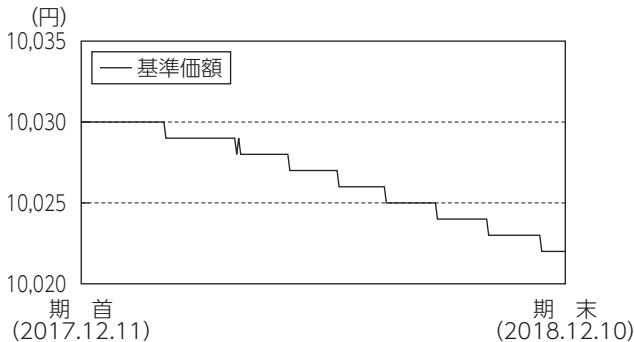
## 大和投資信託

Daiwa Asset Management

東京都千代田区丸の内一丁目9番1号

<http://www.daiwa-am.co.jp/>

■ 当作成期中の基準価額と市況等の推移



年 月 日	基準価額		公社債比率	
	円	%	%	%
(期首)2017年12月11日	10,030	-	-	-
12月末	10,030	0.0	-	-
2018年 1 月末	10,030	0.0	-	-
2 月末	10,029	△0.0	0.5	-
3 月末	10,029	△0.0	-	-
4 月末	10,028	△0.0	-	-
5 月末	10,027	△0.0	-	-
6 月末	10,026	△0.0	-	-
7 月末	10,025	△0.0	-	-
8 月末	10,025	△0.0	-	-
9 月末	10,024	△0.1	-	-
10 月末	10,023	△0.1	-	-
11 月末	10,022	△0.1	-	-
(期末)2018年12月10日	10,022	△0.1	-	-

(注1) 騰落率は期首比。  
 (注2) 公社債組入比率は新株予約権付社債券（転換社債券）および債券先物を除きます。  
 (注3) 当ファンドは、安定した収益の確保をめざして安定運用を行っており、ベンチマークおよび参考指数はありません。

《運用経過》

◆ 基準価額等の推移について

【基準価額・騰落率】

期首：10,030円 期末：10,022円 騰落率：△0.1%

【基準価額の主な変動要因】

マイナス金利環境が継続したことなどから、基準価額は下落しました。

◆ 投資環境について

○ 国内短期金融市場

当作成期首より、日銀は長短金利操作付き量の・質的金融緩和を維持し、2018年7月には金融緩和継続のための枠組み強化を決定しました。このような日銀の金融政策を背景に、国庫短期証券（3カ月物）の利回りおよび無担保コール翌日物金利はマイナス圏で推移しました。

◆ 前作成期末における「今後の運用方針」

流動性と資産の安全性に配慮し、安定的な運用を行います。

◆ ポートフォリオについて

流動性と資産の安全性に配慮し、短期の国債およびコール・ローン等による運用を行いました。

◆ ベンチマークとの差異について

当ファンドは運用の評価または目標基準となるベンチマークおよび参考指数を設けておりません。

《今後の運用方針》

流動性や資産の安全性に配慮し、短期の国債やコール・ローン等による運用を行う方針です。

■ 1万口当りの費用の明細

項目	当期
売買委託手数料	-円
有価証券取引税	-
その他費用 (その他)	4 (4)
合計	4

(注1) 費用の項目および算出法については前掲の「1万口当りの費用の明細」の項目の概要をご参照ください。  
 (注2) 項目ごとに円未満は四捨五入してあります。

■ 売買および取引の状況

公社債

(2017年12月12日から2018年12月10日まで)

		買付額	売付額
国		千円	千円
内	国債証券	570,003	(570,000)

(注1) 金額は受渡し代金（経過利子分は含まれておりません）。  
 (注2) ( )内は償還による減少分で、上段の数字には含まれておりません。  
 (注3) 単位未満は切捨て。

■ 主要な売買銘柄

公社債

(2017年12月12日から2018年12月10日まで)

当		期	
買	付	売	付
銘柄	金額	銘柄	金額
	千円		千円
723 国庫短期証券 2018/3/5	220,001		
757 国庫短期証券 2018/8/13	200,001		
731 国庫短期証券 2018/7/10	150,000		

(注1) 金額は受渡し代金（経過利子分は含まれておりません）。  
 (注2) 単位未満は切捨て。

■組入資産明細表

当作成期末における有価証券等の組み入れはありません。

■投資信託財産の構成

2018年12月10日現在

項 目	当 期 末	
	評 価 額	比 率
	千円	%
コール・ローン等、その他	41,081,960	100.0
投資信託財産総額	41,081,960	100.0

(注) 評価額の単位未満は切捨て。

■資産、負債、元本および基準価額の状況

2018年12月10日現在

項 目	当 期 末
<b>(A) 資産</b>	<b>41,081,960,031円</b>
コール・ローン等	41,081,960,031
<b>(B) 負債</b>	<b>22,652,366</b>
未払解約金	20,000,000
その他未払費用	2,652,366
<b>(C) 純資産総額(A - B)</b>	<b>41,059,307,665</b>
元本	40,969,233,796
次期繰越損益金	90,073,869
<b>(D) 受益権総口数</b>	<b>40,969,233,796口</b>
1口当たり基準価額(C / D)	10,022円

\* 期首における元本額は30,015,878,475円、当作成期間中における追加設定元本額は79,229,641,363円、同解約元本額は68,276,286,042円です。

\* 当期末における当マザーファンドを投資対象とする投資信託の元本額は、ダイワ米国担保付貸付債権ファンド(為替ヘッジあり) 3,021,993円、ダイワ米国担保付貸付債権ファンド(為替ヘッジなし) 1,018,149円、ダイワ米国バンクロン・ファンド(為替ヘッジあり) 2014-07 9,963円、ダイワ米国バンクロン・ファンド(為替ヘッジあり) 2014-09 9,963円、ダイワ米国バンクロン・ファンド(為替ヘッジあり) 2014-11 9,962円、ロボット・テクノロジー関連株ファンド - ロボテック-947,268円、ダイワ/ミレアセット・インド株式ファンド-インドの匠-29,910,270円、ワールド・フィンテック革命ファンド(為替ヘッジあり) 998円、ワールド・フィンテック革命ファンド(為替ヘッジなし) 998円、新興国ソブリン・豪ドルファンド(毎月決算型) 999円、新興国ソブリン・ブラジルリアルファンド(毎月決算型) 999円、新興国ソブリン・ファンド(為替ヘッジあり/毎月決算型) 999円、US短期ハイ・イールド社債ファンド(為替ヘッジあり/毎月決算型) 102,434円、US短期高利回り社債ファンド(為替ヘッジあり/年1回決算型) 1,994円、ロボット・テクノロジー関連株ファンド - ロボテック- (為替ヘッジあり) 39,849円、ロボット・テクノロジー関連株ファンド(年1回決算型) - ロボテック(年1回) - (為替ヘッジあり) 3,985円、iFreeレバレッジ S & P 500 9,976,058円、ダイワ上場投信-日経平均レバレッジ・インデックス6,480,317,774円、ダイワ上場投信-日経平均ダブルインバース・インデックス3,588,745,910円、ダイワ上場投信-TOP I Xレバレッジ(2倍) 指数1,873,252,277円、ダイワ上場投信-TOP I Xダブルインバース(-2倍) 指数602,505,046円、ダイワ上場投信-日経平均インバース・インデックス3,957,907,355円、ダイワ上場投信-TOP I Xインバース(-1倍) 指数3,685,167,742円、ダイワ上場投信-J P X日経400レバレッジ・インデックス323,527,433円、ダイワ上場投信-J P X日経400インバース・インデックス2,008,932,965円、ダイワ上場投信-J P X日経400ダブルインバース・インデックス208,181,200円、ダイワ米国投資法人債ファンド(為替ヘッジあり) 2016-07 997円、ダイワ米国投資法人債ファンド(部分為替ヘッジあり) 2016-07 997円、ダイワ米国投資法人債ファンド(為替ヘッジあり) 2017-06 997円、ダイワ米国投資法人債ファンド(部分為替ヘッジあり) 2017-06 997円、ダイワ米国投資法人債ファンド(為替ヘッジあり) 2016-10 997円、ダイワ米国投資法人債ファンド(部分為替ヘッジあり) 2016-10 997円、ダイワ日本株式会社ペア・ファン

ド(適格機関投資家専用) 3,619,070,901円、低リスク型アロケーションファンド(金利トレンド判断付き/適格機関投資家専用) 199,401,795円、ダイワ日本国債15-20年ラダー型ファンド・マネーポートフォリオ - S Lトレード - 56,086,003円、ダイワ/モルガン・スタンレー新興4カ国不動産関連ファンド-成長の楯音(つちおと) - 5,020,480円、ダイワ/ハリス世界厳選株ファンド・マネー・ポートフォリオ168,192,739円、ダイワ・アセアン内需関連株ファンド・マネー・ポートフォリオ151,817,656円、低リスク型アロケーションファンド(適格機関投資家専用) 13,958,125,625円、通貨選択型ダイワ/ミレアセット・グローバル・グレートコンシューマー株式ファンドII 豪ドル・コース(毎月分配型) 595,106円、通貨選択型ダイワ/ミレアセット・グローバル・グレートコンシューマー株式ファンドII ブラジル・リアル・コース(毎月分配型) 987,373円、通貨選択型ダイワ/ミレアセット・グローバル・グレートコンシューマー株式ファンドII 通貨セレクト・コース(毎月分配型) 494,581円、ダイワUS短期ハイ・イールド社債ファンド(為替ヘッジあり/年1回決算型) 9,957円、ダイワ米国バンクロン・オープン(為替ヘッジあり) 997円、ダイワ米国バンクロン・オープン(為替ヘッジなし) 997円、ダイワ新グローバル・ハイブリッド証券ファンド(為替ヘッジあり) 997円、ダイワ新グローバル・ハイブリッド証券ファンド(為替ヘッジなし) 997円、ダイワ/ミレアセット亜細亜株式ファンド9,958,176円、<奇数月定額払出型>ダイワ先進国リートα 為替ヘッジあり49,806円、<奇数月定額払出型>ダイワ先進国リートα 為替ヘッジなし49,806円、通貨選択型ダイワ/ミレアセット・グローバル好配当株α(毎月分配型) 米ドル・コース1,989,053円、通貨選択型ダイワ/ミレアセット・グローバル好配当株α(毎月分配型) ブラジル・リアル・コース2,978,118円、通貨選択型ダイワ/ミレアセット・グローバル好配当株α(毎月分配型) 通貨セレクト・コース1,691,241円、ロボット・テクノロジー関連株ファンド(年1回決算型) - ロボテック(年1回) - 100,588円、ダイワ先進国リートα 為替ヘッジあり(毎月分配型) 399,083円、ダイワ先進国リートα 為替ヘッジなし(毎月分配型) 99,771円、通貨選択型ダイワ先進国リートα 円ヘッジコース(毎月分配型) 399,083円、通貨選択型ダイワ先進国リートα 通貨セレクトコース(毎月分配型) 99,771円、ダイワ/ミレアセット・グローバル・グレートコンシューマー株式ファンド(為替ヘッジあり) 1,091,429円、ダイワ/ミレアセット・グローバル・グレートコンシューマー株式ファンド(為替ヘッジなし) 315,004円、ダイワ/ミレアセット・アジア・セクターリーダー株ファンド10,009,811円、ダイワ日本株ストラテジーα(通貨選択型) - ジャパン・トリプルリターンズ- 日本円・コース(毎月分配型) 398,764円、ダイワ日本株ストラテジーα(通貨選択型) - ジャパン・トリプルリターンズ- 豪ドル・コース(毎月分配型) 99,691円、ダイワ日本株ストラテジーα(通貨選択型) - ジャパン・トリプルリターンズ- ブラジル・リアル・コース(毎月分配型) 398,764円、ダイワ日本株ストラテジーα(通貨選択型) - ジャパン・トリプルリターンズ- 米ドル・コース(毎月分配型) 398,764円、ダイワ日本株ストラテジーα(通貨選択型) - ジャパン・トリプルリターンズ- コース(毎月分配型) 1,993,820円、通貨選択型ダイワ米国厳選株ファンド - イーグルアイII - 予想分配金提示型 日本円・コース300,273円、通貨選択型ダイワ米国厳選株ファンド - イーグルアイII - 予想分配金提示型 豪ドル・コース200,861円、通貨選択型ダイワ米国厳選株ファンド - イーグルアイII - 予想分配金提示型 ブラジル・リアル・コース300,273円、通貨選択型ダイワ米国厳選株ファンド - イーグルアイII - 予想分配金提示型 米ドル・コース1,999,177円、通貨選択型ダイワ米国厳選株ファンド - イーグルアイII - 予想分配金提示型 通貨セレクト・コース505,900円です。

\* 当期末の計算口数当りの純資産額は10,022円です。



■損益の状況

当期 自2017年12月12日 至2018年12月10日

項 目	当 期
(A) 配当等収益	△ 21,014,406円
受取利息	30,196
支払利息	△ 21,044,602
(B) 有価証券売買損益	△ 2
売買損	△ 2
(C) その他費用	△ 16,468,861
(D) 当期損益金(A + B + C)	△ 37,483,269
(E) 前期繰越損益金	91,400,424
(F) 解約差損益金	△184,462,233
(G) 追加信託差損益金	220,618,947
(H) 合計(D + E + F + G)	90,073,869
次期繰越損益金(H)	90,073,869

(注1) 解約差損益金とは、一部解約時の解約価額と元本との差額をいい、元本を下回る場合は利益として、上回る場合は損失として処理されます。

(注2) 追加信託差損益金とは、追加信託金と元本との差額をいい、元本を下回る場合は損失として、上回る場合は利益として処理されます。